

報道関係者各位

平成 22 年 11 月 26 日

森ビル株式会社

森美術館

## 文化都心・六本木ヒルズの象徴「森美術館」

### 2011 年度展覧会のご紹介

森ビル株式会社は、都市空間に文化・芸術コンテンツを入れることで、新しい想像力や可能性を育む街づくりを目指しています。森美術館は、文化都心・六本木ヒルズの象徴として、また弊社の文化・芸術活動の核として 2003 年 10 月にオープン。「現代性」と「国際性」を理念とし、バイリンガルでのサービス提供や夜 22 時までの開館、先端デバイスを利用した情報提供など、様々な先進的な取り組みを行っております。

#### **アジアで 5 位。世界でも有数の入館者数を誇る美術館**

森美術館には、年間 150 万人（2009 年度／展望台「東京シティビュー」を含む）の観客が訪れ、世界で 24 番目、アジアで 5 番目、日本では 3 番目に多くの入館者数を記録しています（※1）。

※1: The Art Newspaper No. 212「Exhibition and museum attendance figures 2009」, April 2010

#### **3 割以上が 17 時以降に来館。夜 22 時まで鑑賞できる美術館**

アート&ライフをテーマに掲げる森美術館は、日々の暮らしの中で、アートを体験する機会を提供するため、展覧会会期中は無休で、22 時まで開館（火曜日を除く）しています。

森美術館では、3 割以上のお客さまが、17 時以降に展覧会を鑑賞しており、仕事帰りなどに展覧会に寄る、というライフスタイルが定着しつつあります。

#### **約 2 割が英語サービスを希望。すべてのサービスをバイリンガルで**

サイン表示、スタッフ対応から音声ガイドまで、すべてのサービスを日本語と英語のバイリンガルで提供しています。現在では、2 割程度のお客さまが英語でのサービスを希望され、日本語がわからなくても安心して楽しめる美術館として、海外の観光雑誌などでも紹介されています。

#### **六本木ヒルズの最上階（53 階）に位置。写真撮影 OK、Twitter や iPad サービスも**

展望台「東京シティビュー」を併設する森美術館は、世界でも非常に珍しく、高層ビルの最上層（六本木ヒルズ森タワー53 階）に位置しています。また、作品の収集が美術館に課せられた大きな使命である中、コレクションはするものの、常設展示は一切行わず、展覧会の企画に主軸を置いています。更に、お客さまによる展示室内での写真撮影の許可（※2）、Twitter や iPad など先端のデバイスやサービスを利用した情報の提供など、新しい取り組みを続けています。

※2：一部の展覧会

### ※2011 年度展覧会のご紹介は次頁以降をご覧ください

<本件に関するお問い合わせ先>

森ビル株式会社

森美術館広報 渡邊・瀧

TEL:03-6406-6111 FAX:03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum

広報室 深野・田澤

TEL:03-6406-6606 FAX:03-6406-9306 E-mail: koho@mori.co.jp

# 森美術館 2011 年度展覧会一覧

森美術館は、この度、2011 年度に開催する展覧会を発表しました。

2011 年度は、コレクターの視点を通してフランスの現代アートシーンを眺望する「フレンチ・ウィンドウ展：デュシャン賞にみるフランス現代美術の最前線」にはじまり、日本のモダニズム建築の基盤ともいべきメタボリズム運動に焦点を当てた「メタボリズム展：都市と建築」、現代アジアを代表する女性アーティスト、イ・ブルを紹介する個展「イ・ブル展」と、ジャンルや、地域を超えた多様性のあるラインアップで開催します。

また、世界各国の才能豊かな若手アーティストを紹介する MAM プロジェクト では、ベルリン在住の田口行弘、香港在住のツァン・キンワー、そして、シンガポール在住のホー・ツーニエンの 3 名を紹介します。

会期：2011 年 3 月 18 日[金]－7 月 3 日[日]

## フレンチ・ウィンドウ展：デュシャン賞にみるフランス現代美術の最前線

[同時開催] MAM プロジェクト 014：田口行弘

会期：2011 年 7 月 23 日[土]－11 月 6 日[日]

## メタボリズム展：都市と建築

[同時開催] MAM プロジェクト 015：ツァン・キンワー

会期：2011 年 11 月 26 日[土]－2012 年 2 月 26 日[日]

## イ・ブル展

[同時開催] MAM プロジェクト 016：ホー・ツーニエン

\*展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接お問い合わせください。

**PRESS RELEASE**  
**プレスリリース**

お問い合わせ 森美術館 広報：渡邊、瀧、品川、飛驒、岡崎 Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351  
E-mail: pr@mori.art.museum Website: www.mori.art.museum 〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

MORI ART MUSEUM

MORI ARTS CENTER

# フレンチ・ウィンドウ展： デュシャン賞にみるフランス現代美術の最前線

2011年3月18日 [金] - 7月3日 [日] 森美術館 (六本木ヒルズ森タワー 53階)

フランスのコレクター団体 ADIAF が主催するマルセル・デュシャン賞の設立 10 周年を記念して開催する本展では、同賞のグランプリ受賞作家に加え、一部最終選考作家とデュシャン本人を含む 27 名のアーティストを一挙に紹介します。

展示は、デュシャンの代表作「フレッシュ・ウィドウ [FRESH WIDOW]」= (俗にフランス窓 [FRENCH WINDOW] と呼ばれる) に着想を得て、「デュシャンの窓」、「窓からの眺め」、「時空の窓」、「こころの窓」、「窓の内側」という 5 部で構成されます。

第 1 部では、デュシャンの主要なレディ・メイドを展示、続く 3 つの部では、世代や文化背景の異なる作家たちの絵画、彫刻、写真、インスタレーション、ビデオ等により、近年活気を増し国際的にも注目されるフランス現代美術のエッセンスを紹介し、そして最後の部では、コレクターたちのアパルトマンを再現し、作品を展示します。

本展は、日常性や時間、都市の心象風景等を独創的に捉えた多様な表現を通じ「フランスの空気」を体感し、背景にある歴史や社会、文化への関心を喚起させられる機会を提供するとともに、「コレクターの時代」、「共存の時代」といわれる今、日本における公立美術館や公的機関と、民間の美術館、画廊やコレクター等との「協働の可能性」をも探ります。

## ADIAF とは

ADIAF (フランス現代美術国際化推進会) は今日のフランスにおける重要な個人コレクター・グループで、会員は 3000 名にのぼる。フランスの現代アートシーンを国際的に紹介し、現代美術の魅力をより多くの人に知らせることを目指し 1994 年に設立された。

## マルセル・デュシャン賞とは

マルセル・デュシャンに敬意を表しその名を冠した同賞は、国籍、年齢に関係なく、広くフランスに在住する作家を対象とし、フランスの現代アートシーンを牽引する作家たちの活動を支援し、国際的に紹介することを目的とする。2000 年に ADIAF によって設立された。

## 出品作家 27 名 \*アルファベット順 (マルセル・デュシャンを除く)

マルセル・デュシャン、サーダン・アフィフ、カデル・アッティア、ヴァレリー・ペラン、キャロル・ベンザケン、ミッシェル・ブラザー、セステ・ブルシエ=ムージュノ、クロード・クロスキー、フィリップ・コニエ、ワン・ドゥ、リシャール・フォーゲ、シブリアン・ガイヤール、ドミニク・ゴンザレス=フェルステル、ローラン・グラツォ、カミーユ・アンロ、トーマス・ヒルシュホーン、ヴァレリー・ジュヴ、クロード・レヴェック、ディディエ・マルセル、フィリップ・マヨ、マチュー・メルシエ、ニコラ・ムーラン、ブリュノ・ペナド、フィリップ・ラメット、アンリ・サラ、タチアナ・トゥルヴェ、ザヴィエ・ヴェイヤン

**主催:** 森美術館、ADIAF (フランス現代美術国際化推進会)

**助成:** CULTURESFRANCE

**後援:** 在日フランス大使館

**企画:** 南條史生 (森美術館館長)、三木あき子 (ゲスト・キュレーター)、ジャン=マルク・プレヴォー (ゲスト・キュレーター)

\*展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接お問い合わせください。

## PRESS RELEASE プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報: 渡邊、瀧、品川、飛驒、岡崎 Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351

E-mail: pr@mori.artmuseum Website: www.mori.art.museum 〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー



マルセル・デュシャン 《フレッシュ・ウィドウ》  
1920年/1964年 木、ガラス  
79.0 x 54.1 x 10.8 cm  
所蔵: 広島市現代美術館



ブリュノ・ペナド 《大きな一つの世界》  
2000年  
発泡スチロール、樹脂、ポリウレタン絵の具、木  
240 x 170 x 100 cm  
所蔵: ポワトゥーシャラント地域現代芸術振興基金  
Photo © Christian Vignaud

# メタボリズム展：都市と建築

2011年7月23日〔土〕 - 11月6日〔日〕 森美術館（六本木ヒルズ森タワー 53階）

「メタボリズム」とは、生物学用語で「新陳代謝」を意味し、生物が代謝を繰り返しながら成長していくように建築や都市も有機的に変化できるようにデザインされるべきである、という建築理論のマニフェストとして1960年代に日本で発表されました。この理論は、戦後の復興期から高度経済成長期に、壮大な未来都市の像を描き、多くの実験的な建築を実現させただけでなく、今日、日本が国際的に活躍する優れた建築家、デザイナーを輩出する基盤ともなっています。提唱したのは、丹下健三の影響を受けた建築評論家の川添登、建築家の大高正人、菊竹清訓、黒川紀章、槇文彦、デザイナーの栄久庵憲司らで、今なお世界で最も知られている日本の建築理論です。

本展は、メタボリズム運動誕生の背景となった丹下健三の思想・事蹟と、1960年代を中心としたメタボリストの活発な活動、そしてこの理論の成果と言える1970年の大阪万博までを資料、模型等で紹介し、その理論に今日どのような意義があるのかを問いかける、世界で初めての展覧会です。また、当時の建築資料の遺失・散逸が問題となっている現在、本展を契機に貴重な現存資料を整理・蒐集し、将来に残すことも、本展の重要な意義と考えています。

**主催：**森美術館、UIA2011TOKYO  
**専門委員：**磯崎 新、栄久庵憲司、大高正人、川添 登、菊竹清訓、藤森照信、槇 文彦、八束はじめ、ほか  
 \*五十音順  
**企画：**森美術館、メタボリズム研究会



《東京計画 1960》  
 撮影：川添明男  
 © 丹下都市建築設計



《日本万国博覧会 お祭り広場》  
 1970年  
 撮影：新建築社写真部

\*展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接お問い合わせください。

**PRESS RELEASE**  
**プレスリリース**

お問い合わせ 森美術館 広報：渡邊、瀧、品川、飛驒、岡崎 Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351  
 E-mail: pr@mori.artmuseum Website: www.mori.art.museum 〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

MORI ART MUSEUM

MORI ARTS CENTER

# イ・ブル展

2011年11月26日 [土] - 2012年2月26日 [日] 森美術館 (六本木ヒルズ森タワー 53 階)

イ・ブルは、1990年初頭に国際的なアートシーンに登場して以降、現代アジアを代表する韓国人アーティストとして独自の位置づけを築いてきました。初期は、パフォーマンスとソフトスカルプチャーを融合させた作品を制作していましたが、その後、アーティスト自身の身体から独立し、拡張された身体、妖怪など想像上の生物や深海生物、熱帯植物を連想させる未知の生命体としての「モンスター」、完璧さへのヴィジョン、人類を超越した理想的な姿の象徴としての「サイボーグ」シリーズなどの彫刻作品に発展しました。さらに人類の欲望、宇宙との関係性、ユートピ的な思想や哲学といったイ・ブルの多角的な洞察は、近年では建築的なスケール感に広がり、未来都市やユートピ的な都市景観を思わせる「モン・グラン・レシ」シリーズに繋がっています。

本展は、初期から現在まで20年間にわたる彼女の作品を総覧するはじめての展覧会となります。展示は経年的で時代ごとではなく、同時並行的に発展してきたイ・ブルの代表的なシリーズの本質的な意味や哲学的な含意、あるいは地政学的な歴史に関連づけられる文脈を、主要作品群によって浮き彫りにすることを試みます。本展終了後、北米、韓国など国際巡回を予定しています。



《アマリス》(「アナグラム」シリーズより)  
1999年 210 x 120 x 180 cm  
Courtesy: PKM Gallery | Bartleby Bickle & Meursault

## イ・ブル

1964年、韓国生まれ。1987年、公益大学美術科彫刻専攻卒。1990年代よりニューヨーク近代美術館(プロジェクトスペース)(1997年)、ベルン・クンストハーレ(1999年)、ル・コンソルティウム、ディジョン(2002年)、ニューミュージアム、ニューヨーク(2002年)、シドニー現代美術館(2004年)、カルティエ現代美術財団、パリ(2007年)など世界各地で個展を開催。1998年にはHUGO BOSS賞ファイナリスト、1999年には第48回ヴェネツィア・ビエンナーレ韓国館、ハロルド・ゼーマン企画の国際展参加などで高い評価を得た後、数々の国際展、グループ展に参加。国内でも国際交流基金、金沢21世紀美術館、東京都現代美術館などで紹介されている。その他、パブリックコレクション多数。



《なぜならすべて》(「モン・グラン・レシ」シリーズより)  
2005年 230 x 250 x 500 cm  
Collection & Photo Courtesy: Govett-Brewster Art Gallery, New Plymouth, New Zealand

**主催:** 森美術館

**企画:** 片岡真実(森美術館チーフ・キュレーター)、ダン・キャメロン(プロスペクト・ニューオーリンズ、ディレクター)

\*展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接お問い合わせください。

## PRESS RELEASE プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報: 渡邊、瀧、品川、飛騨、岡崎 Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351

E-mail: pr@mori.artmuseum Website: www.mori.art.museum 〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

MORI ART MUSEUM

MORI ARTS CENTER

# MAMプロジェクト



MAM プロジェクトは森美術館が世界各国の才能豊かな若手アーティストを応援するプロジェクト・シリーズです。

## MAMプロジェクト014：田口行弘

2011年3月18日 [金] - 7月3日 [日]

田口行弘（1980年生まれ）は、東京藝術大学油絵科卒業後、2005年からベルリンを拠点に活動しています。“パフォーマンス・インスタレーション”という田口の映像は、インスタレーションとしての場や空間の状況を徐々に変化させた瞬間の連続や蓄積をアニメーション化したもので、空間と時間に介入するアーティストの不可視のパフォーマンスが内包されています。MAMプロジェクト014では、六本木ヒルズを中心に東京という都市へ介入しつつ、田口が散布する生のエネルギーによって傍観者も作品の一部へと巻き込みながら、見えない都市のコードを開示するプロセスを映像として紹介します。

企画：片岡真実（森美術館チーフ・キュレーター）



《モーメント：パフォーマンス・シュパチーレン》  
イベント、ピクニック/バーベキュー  
2008年 ベルリン、クロイツベルグ

## MAMプロジェクト015：ツァン・キンワー

2011年7月23日 [土] - 11月6日 [日]

香港在住のツァン・キンワー（曾建華、1976年生まれ）は、美しい壁紙のように見える文字のインスタレーションや、投影された文字が生き物のようにうごめきながら壁や床を埋め尽くす映像作品を制作します。ツァンの作品において素材として扱われる文字は、通常の伝達手段としての役割とは全く異なる表情を見せます。圧倒的な量で迫り来る文字の森に身をおくと、私たちは意味の深みや多義性を感じつつ、文字との新たな出会いを体験することになるでしょう。

企画：荒木夏実（森美術館キュレーター）



《第二の封印-前進を阻むものは汝の糧となる》  
2009年 リヨン、ラ・シュクリエールでの展示風景

## MAMプロジェクト016：ホー・ツーニエン

2011年11月26日 [土] - 2012年2月26日 [日]

シンガポールで活動中のホー・ツーニエン（何子彦、1976年生まれ）は、映像を中心に、絵画、映画、インスタレーション、演劇などさまざまなメディアを用い、歴史や伝承、既存の物語などを参照しつつ作品化することで、現実世界への介入と検証を行います。ドキュメンタリー風でありながらも詩的かつ演劇的な映像世界は、観客の想像力を引き出すことで、各自の世界俯瞰図として想像される現実を再考させます。近年、数々の国際展、映画祭に招聘され注目を集めており、新作も出展する本展は、日本で初めての個展となります。

企画：椿 玲子（森美術館アシスタント・キュレーター）



《ニュートン》  
2009年 HD, 4分16秒  
Photo Courtesy the artist and Osage Gallery, Hong Kong

### PRESS RELEASE プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：渡邊、瀧、品川、飛驒、岡崎 Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351  
E-mail: pr@mori.artmuseum Website: www.mori.art.museum 〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー